



（人材育成の取組み－１）

四国コンテンツ映像フェスタ （総務省四国総合通信局）

〔概要〕

総務省四国総合通信局は、産学官による四国コンテンツ連携推進会議を設置し、地域コンテンツによる地域づくり、人づくりに資する活動として、四国コンテンツ映像フェスタ、映像制作研修会、セミナー等を開催。

特に、「四国コンテンツ映像フェスタ」は、人材育成と地域コンテンツ流通の促進を図ることを目的に、地域のデジタル動画コンテンツ制作者に発表の場を提供するコンテストとして2007年から毎年継続して開催されており、これまでに300以上の作品の応募がある。

（四国総合通信局独自施策）

〔コラム〕

四国総合通信局は、地域コンテンツで地域づくり、人づくりを目指す産学官による異業種連携組織として四国コンテンツ連携推進会議を2007年3月に発足させ、様々なコンテンツの利活用や流通促進に関する活動を行っている。

四国総合通信局及び四国コンテンツ連携推進会議は、地域の動画コンテンツ制作者に発表の場を提供する「四国コンテンツ映像フェスタ」を2007年から開催しており、地域におけるコンテンツ制作の活発化や地域からの情報発信の強化、そして、人材育成と地域コンテンツ流通の促進を図る取組として評価されている。

このフェスタでは動画コンテンツの募集が毎年6月から11月まで行われており、毎年たくさんの応募作品が届いているが、外部の有識者による審査を経て優秀作品を選考し、毎年2月頃にそれら優秀作品のコンテンツ制作者を表彰している。

2011年度からは、外部の有識者による審査に加え、一般の方々が応募作品をネット上で自由に視聴できる期間を1か月程度設け、視聴した作品に点数をつけて評価を行うWeb投票も審査方法に導入している。このWeb投票の実施により、四国コンテンツ映像フェスタへの認知度を高めるとともに、様々な動画コンテンツの応募作品を視聴して楽しむことを可能にした。

この結果、コンテンツ制作者は自身の応募作品に対する一般の視聴者からの評価を点数で知ることによって更なる創作活動への意欲が喚起され、視聴者は創造力溢れる作品に刺激され新たにコンテンツ制作者となって応募することが期待され、コンテンツ制作者と視聴者の双方にプラスの相乗効果をもたらし、人材育成と地域コンテンツ流通の促進を図るという目的の実現に向けた発展性あるサイクルの構築に成功している。

ネット上には動画コンテンツを提供する様々なサイトが溢れ、視聴者がそれに対して評価やコメントを行うことが可能なサイトも多く存在するが、四国コンテンツ映像フェスタのように、地域の動画コンテンツの作品を募集し、その応募作品を公開、視聴及び評価を行うことで地域からの情報発信の強化に取り組んでいる事例は少なく、コンテンツ関連の人材育成の先進的な事例として注目されている。

〔制作費等〕

四国総合通信局及び関係機関が動画公開用のHP構築やサーバーに要する費用や表彰式開催に係る費用等を負担している。

